学校番号	102

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	服飾文化　（教育図書株式会社）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実験実習を通じて生活との関わりを認識しながら、主体的・体験的に習得していこう。
単元の目標を明確にしながら意欲・関心を持って進めよう。

2　学習の到達目標

衣服の構成、衣服材料の種類や特徴など、衣服製作に関する知識と技術を習得する。
ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	衣生活に関する 諸問題に関心をもち 生活を営む力の推進 にむけて積極的に取り組む意欲と態度を身に付けている。	衣生活を総合的に 捉えて計画・実践する ために課題を見いだし、衣生活を営む力の推進に寄与するために創意工夫し表現する能力を身に付けている。	被服製作・被服材料に関する基礎的・基本的な技量、衣生活で創造的を製作できる技能を身に付けている。	被服製作・被服材料に関する基礎的・基本的な知識を習得し創造的に製作できる 知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 被服計画、製作計画 実習記録表、 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 被服計画、製作計画 実習記録表、 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真・製作品 観察記録表、 レポート、発表 定期考査・実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 被服計画、製作計画 実習記録表、 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月・5月	衣服の構成	導入 服飾の起源 衣服の構成	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a: 目標と実施方法について関心・意欲ができたか。 b: 服飾の起源・構成について考えをまとめることができたか。 c: 洋服や和服の変遷・構成について考え振り返ることができたか。 d: ・服飾の起源について理解し振り返り考えることができたか。 ・洋服や和服の変遷・構成を理解することができたか。	授業観察 ワークシート レポート 小テスト
6月・7月・8月・9月・10月	和服の製作	実習1　簡単和服の製作 ・和服の素材と用具 ・ 基本的技法	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:和服製作の原理に意欲的に取り組んだか。 b: 実習を通して和服製作の原理が振り返れたか。 c: 実習を通して和服製作の原理・技術が習得できたか。 d: 実習を通して和服製作の原理が習得・理解できたか。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録表 作品 自己評価 相互評価 小テスト
11月	被服デザインと作画	服飾デザイン 被服デザインの構成 服飾産業と流行 実習2　デザイン画の描き方	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 被服デザインに意欲的に取り組んだか。 b: 被服デザイン服飾産業と流行について振り返れたか。 c: デザイン画について習得できたか。 d: 服飾や被服デザインについて要素・構成原理を理解し考える事が出来たか。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録表 作品 自己評価 相互評価

12月	被服の平面作図	基本から平面作図までの習得 実習3　原型の作図	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：平面作図について意欲的に取り組んだか。 b：平面作図について振り返れたか。 c：平面作図の技術が習得できたか。 d：平面作図について理解できたか。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録表 作品 自己評価 相互評価
1月・2月・3月	繊維と服飾実習	・繊維の種類と性能 実習4　実験(燃焼他) 実習5　編み物・染め物	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：繊維の種類と性能、服飾文化の継承や環境・消費者問題に意欲的に取り組んだか。 b：繊維の種類と性能、服飾文化の継承や環境・消費者問題についてについて振り返れたか。 c：服飾文化の継承や服飾実習に楽しく技術の習得ができたか。 d：繊維の種類と性能について理解し実験を通して習得できたか。服飾文化の継承や環境・消費者問題について理解・習得したか。服飾実習の楽しさを理解できたか。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録表 作品 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。